

2016年度 定例総会議事録

標記の総会が2016年5月28日(土)17時30分より東京都立川市統計数理研究所大会議室にて樋口会長を議長として開催された。出席22名、委任状により表決権委任した者94名(議長委任69名、会長委任1名、氏名のみ24名)で、出席者合計が、3月31日の正会員数495名の10分の1以上となり、会則第14条により総会は成立した。以下の事項が報告・承認された。

I. 応用統計学会 2015年度 事業報告 (2014.04.01~2015.03.31)

1. 概況

2015年度は、樋口知之 会長・水田正弘 副会長をはじめとする15名の理事、および、椿 広計、渡辺美智子の両監事の体制で活動した。

財務状況はほぼ例年通りであった。

2015年度中の会員の入会、退会状況は、入会者数32名(内訳:正会員21名、学生会員8名、機関購読(団体)0件)、退会者数21名(内訳:正会員18名、学生会員3名、機関購読(団体)0件)であった。

この結果、会員数は2015年度末現在で521名である。内訳は正会員495名、学生会員26名、賛助会員6社、機関・団体購読は34件である。正会員と学生会員を足した会員数の推移は次のとおり。会員増への方策の検討が必要である。

	2009年度末	2010年度末	2011年度末	2012年度末	2013年度末	2014年度末	2015年度末
会員数	553名	550名	547名	532名	526名	501名	521名

2. 総会の開催

2015年5月23日に総会を統計数理研究所 大会議室(立川市)で開催した。

3. 評議員会

2015年5月23日に定例評議員会を統計数理研究所 会議室1で開催し、総会に付議する事項等について審議した。

4. 理事会

対面理事会を4回(2015年5月、9月、10月、2016年3月)、メール審議による理事会を19回、計23回理事会を開催し、学会の運営に関する事項、会員の入退会に関する事項、学会などの後援や協賛に関する事項について審議した。

5. 機関誌編集

「応用統計学」Vol.44のNo.1-2(2号の合本)、No.3を発行した。掲載原稿は11編(巻頭言1、フォーラム3、特集論文4、研究論文3)である。総ページ数の推移は次のとおり。

巻	37	38	39	40	41	42	43	44	平均
総ページ数	150	172	100	209	152	195	57	187	152.8
論文数*	7	8	5	11	7	10	3	11	7.8

*掲載された記事の数(総合報告、研究論文、覚え書き、統計計算、フォーラム)

6. 応用統計学会論文賞の選考

2015年度の「応用統計学」のVol.3が2016年2月に発行されたため、選考が年度内に行われなかった。2016年度の連合大会に開催される企画セッション内で、学会論文賞の授与を行う。

7. 年会

2015年度は2016年3月に2016年年会として開催した。(参考:2015年3月に2015年年会として2014年度に開催している。)

2015年度の年会を2016年3月17日に統計数理研究所(立川市)で開催した。

応用統計学会・日本計量生物学会主催，統計数理研究所共催による，チュートリアルセミナー1件（久保拓弥氏，北海道大学による「統計モデリング入門：一般化線形モデルから階層ベイズモデルへ」），一般講演7件，特別講演2件，ポスター発表7件あった。参加者は106名（会員58名，学生11名，非会員37名）であった。

優秀ポスター発表として以下の1名を選出した。（*が受賞対象者）

*今井徹（総合研究大学院大学/ALBERT）・黒木学（統計数理研究所），
An Improved Widely Applicable Bayesian Information Criterion for Singular Models

2016年年度の参加者は71名（正会員（後援学会員を含む）50名，学生（学生会員を含む）11名，非会員10名）であった。参加者数の推移は次のとおり。

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年	2016年
参加者数	91名	126名	125名	122名	105名	106名	64名	71名

※ 次回の年会は2017年3月に2017年年度として開催予定。

8. フロントアセミナーの開催

初めての試みとして，「応用統計学フロントアセミナー」を，2015年5月23日(土)に統計数理研究所（大会議室）に行った。参加者数は129名（会員30名，非会員99名）だった。講演は以下の通りである。

樋口知之（応用統計学会・会長，統計数理研究所・所長）

「エミュレーション技術によるパーソナライゼーションの実現」

安宅和人（ヤフー株式会社・CSO，応用統計学会 理事）

「データ時代に向けたビジネス課題とアカデミアに向けた期待」

照井伸彦（東北大学・大学院経済学研究科・教授）

「マーケティング・アナリティクス -ビッグデータとスモールデータの統計モデリング-」

椿広計（(独)統計センター・理事長）

「ビジネスは科学足りえるか？ 統計科学への期待」

当日の講演資料は学会ウェブページにて掲載し，応用統計学にフォーラムとして掲載した。

9. 統計関連学会連合大会

統計関連学会連合大会を2015年9月6日～9日に岡山大学 津島キャンパスで開催した（共催：応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会）。

参加者総数776名，発表件数338件（取消を除き，特別セッションでの報告を含む）で，この内，企画セッション21企画85件，コンペセッション30件であった。

また，チュートリアルセミナー（参加232名），市民講演会（参加191名）が行われた。本学会の企画セッションとして，応用統計学会論文賞講演を行った。

大会参加者総数とチュートリアルセミナー参加者の推移は次のとおり。

年 度	2010	2011	2012	2013	2014	2015
大 会	900名	821名	824名	979名	1034名	776名
チュートリアルセミナー	288名	147名	141名	238名	223名	232名

※ 2015年の数字は2015/9/9の連合理事会での報告

10. 関連学会等との後援・協賛事業

合計10件（後援5件，協賛4件，共催1件）

（参考：2014年度：合計5件（後援2件，協賛3件））

今年度以後援・協賛した行事は次のとおり。

- ・日本シミュレーション&ゲーミング学会大会（後援）
- ・第 67 回白石記念講座 新しい世紀の形態計量学 ～数学と鉄鋼研究のコラボレーション～（協賛）
- ・心理・行動・生体情報融合データ科学シンポジウム（同志社大学）（後援）
- ・第 18 回情報論的学習理論ワークショップ（IBIS2015）（協賛）
- ・統計教育大学間連携ネットワーク「論より統計！ データサイエンスが社会の課題を解決する」シンポジウム（後援）
- ・2nd シンポジウム ～実務者が集うデータサイエンスの最前線～（データサイエンティスト協会）（後援）
- ・情報処理学会 IT フォーラム：ビッグデータ活用実務フォーラム 機械学習とデータマイニングの最前線～500 人大集会：そのツールと応用～」（協賛）
- ・ソフトウェアジャパン 2016（協賛）
- ・第 4 回 データビジネス創造コンテスト（後援）
- ・第 5 回科学技術教育フォーラム（共催）

1 1. 関連学会等への協力と協調

以下の各連合組織に当学会より担当する理事又は特別任務を担当する学会員を指名し、各委員会に出席するなど協調を行った。

(1) 統計関連学会連合

理事会（副理事長：樋口知之 会長，水田正弘 副会長，理事長：岩崎 学 会員），
事業委員会（鎌倉稔成 会員），
統計教育推進委員会（委員長：田栗正章 会員），
教材開発委員会（委員長：中西寛子 理事，藤井良宜 会員，南美穂子 会員，渡辺美智子 監事）

(2) 統計関連学会連合大会

2015・2016 年度大会 プログラム委員会（佐藤忠彦 理事，福水健次 理事），
運営委員会（本橋永至 理事）

(3) 横断型基幹科学技術研究団体連合

2014-2015 年度 評議員，2016-2017 年度 理事（中西寛子 理事），
2014-2015 年度 理事，企画・事業，総務・会員委員会（岩崎学 会員）

(4) 統計教育大学間ネットワーク

質保証委員会（田栗正章 会員），カリキュラム策定委員会（中西寛子 理事，藤井良宜 会員，南美穂子 会員，渡辺美智子 監事）

(5) リスク研究ネットワーク

機関メンバーとして参加

(6) 統計検定（一般財団法人 統計質保証推進協会）

後援を行うと共に、各種委員会運営にも協力

1 2. 大内賞候補者の推薦

2015 年度の大内賞候補者を理事会として承認し、学会から推薦した。

1 3. ホームページおよびメーリングリストの充実

ホームページを逐次更新し、学会員への情報公開を円滑にした。また、メーリングリストによる情報公開を行った。

その他の事業については応用統計学会のホームページをご覧ください。

II. 2015年度会計報告

1. 収入の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 会費収入	2,517,500	2,322,500	195,000
(1) 正会員	2,377,500	2,150,000	227,500
(2) 学生会員	40,000	52,500	▲ 12,500
(3) 賛助会員	100,000	120,000	▲ 20,000
2. 雑誌売上収入	235,872	205,800	30,072
(1) 購読料収入	235,872	205,800	30,072
(2) バックナンバー売上	0	0	0
3. 広告料	30,000	60,000	▲ 30,000
4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入	220,000	300,000	▲ 80,000
5. 年会等関係収入	640,500	520,000	120,500
(1) 年会収入	214,000	350,000	▲ 136,000
(2) チュートリアル収入	426,500	170,000	256,500
(3) ワークショップ収入	0	0	0
6. 雑収入(著作権料・利息等)	125,886	70,000	55,886
7. 一時預かり金	15,000	0	15,000
当期収入合計	3,784,758	3,478,300	306,458
前期繰越金	5,144,089	5,144,089	0
収入合計	8,928,847	8,622,389	306,458

会費収入に関する補足

2016年3月31日現在会員521名

内訳 正会員 495名
学生会員 26名

正会員収入内訳

2014年度まで	130,000円 (16名)	2009年-2014年度1名, 2012年-2014年度1名, 2013年-2014年度3名, 2014年度11名
2015年度	1,422,500円 (285名)	学生会員からの種別変更に伴う会費差額納入(2,500円)1名を含む
2016年度から	825,000円 (165名)	

学生会員収入内訳

2014年度まで	5,000円 (1名)	2013年-2014年度1名
2015年度	25,000円 (10名)	
2015年度から	10,000円 (4名)	

会費納入率 88.78% (前年度に納入された775,000円を含める)
機関購読数 34件

※学生会員ではない団体(ユ)カシワキカクから15,000円の不明な入金があり、これを一時預かり金として計上している

2. 支出の部

勘定科目	決算額	予算額	差額
1. 機関誌関係費	1,485,474	1,340,000	145,474
(1)印刷費	1,018,440	950,000	68,440
(2)校正費	150,000	150,000	0
(3)通信・発送費	317,034	240,000	77,034
2. 年会等関係費	740,891	692,000	48,891
(1)年会支出	417,818	396,000	21,818
(2)チュートリアル支出	323,073	296,000	27,073
(3)ワークショップ支出	0	0	0
(4)共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,221,720	1,160,000	61,720
(1)事務委託費	750,000	750,000	0
(2)消耗品費	183,503	120,000	63,503
(3)会議費	24,150	80,000	△ 55,850
(4)雑費	110,879	80,000	30,879
(5)名簿作成費	0	0	0
(6)事務合理化費	7,560	10,000	△ 2,440
(7)選挙費	145,628	120,000	25,628
4. 役員旅費補助	0	150,000	△ 150,000
5. 関連学会協調事業費	82,500	80,000	2,500
(1)関連学会年会費	80,000	80,000	0
(2)連合大会	2,500	0	2,500
6. 学会賞	35,022	50,000	△ 14,978
当期支出合計	3,565,607	3,472,000	93,607
収支差額(次年度繰越金)	5,363,240	5,150,389	212,851
支出合計	8,928,847	8,622,389	306,458

- ・1(1)印刷費……「応用統計学」(Vol.44, No1&2, 3),
電子ジャーナル作成料 (Vol.43 No1&2&3, Vol.44, No.1&2)
- ・3(6)事務合理化費……ドメイン名登録更新料

2016年度への繰越金の内訳

項目	2015年3月31日現在	2016年3月31日現在
銀行預金	341,659	126,754
郵便貯金	839,672	839,873
定額貯金	500,000	500,000
郵便振替	3,462,758	3,883,938
現金	0	12,675
合計	5,144,089	5,363,240

会計監査報告書

応用統計学会殿

応用統計学会会則に基づき、2015年4月1日より2016年3月31日までの会計経理を監査した結果、会計報告のとおり相違ないことを認めます。

2016年5月11日

監事

椿 志計
渡辺 美智子

I I I. 2016年度事業計画(2016.04.01~2017.03.31)

1. 機関紙の発行

「応用統計学」Vol. 45 を発行する。

2. 応用統計学会論文賞等の授与

「応用統計学」に掲載された論文の中から優秀な論文に学会賞(優秀論文, 奨励論文)を授与する。また年度のポスターセッションの中から, 優秀ポスター発表賞を授与する。各受賞者は統計関連学会連合大会における企画セッションで講演を行う。

3. 年会の開催

2017年3月18日に中央大学(後樂園キャンパス)で開催予定である。3月17日はチュートリアルセミナーを開催。

4. 応用統計学フロンティアセミナーの開催

5月28日に統計数理研究所(立川市)において標記セミナーを, 統計数理研究所の後援で開催する。テーマは「データ駆動型科学の最前線 ~自然科学・社会への新たなアプローチ~」とし, 岡田真人氏(東京大学・新領域創成科学研究科教授), 津田宏治氏(東京大学・新領域創成科学研究科教授) 上田修功氏(NIT・コミュニケーション科学基礎研究所)の講演を行う。

5. 統計関連学会連合大会での企画セッション

2016年度統計関連学会連合大会(応用統計学会・日本計算機統計学会・日本計量生物学会・日本行動計量学会・日本統計学会・日本分類学会が共催)が2016年9月4日~7日に金沢大学で開催される。企画セッションとして当学会は応用統計学会シンポジウム「統計モデルとマーケティング」を企画運営する。

6. 研究集会

必要に応じてその他の研究集会を開催・支援する。

7. 学会員への情報公開

ウェブページやメーリングリストを活用して, 学会員への情報公開を有効かつ円滑に行う。賛助会員の一覧をウェブページに作成する。

8. 広報活動

会員の募集のための広報活動を, 連合大会(ブースの設置)や適切な媒体を使って行う。

9. 関係学会等との協調

以下の団体への加盟を継続し協力すると共に, その他関係学会との協調を促進する。

- (1) 統計関連学会連合
- (2) 日本計量生物学会
- (3) 横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)
- (4) 統計教育大学間連携ネットワーク
- (5) リスク研究ネットワーク
- (6) 統計検定(一般財団法人 統計質保証推進協会)
- (7) データサイエンティスト協会

10. 理事会, 評議員会, 総会の開催

5月28日(フロンティアセミナー開催日)の午前中に, 理事会と評議員会を開催し, フロンティアセミナー開催後に総会を開催する。また, 総会開催後に新会長の下での理事会を開催する。さらに9月の連合大会開催時, 3月の年会開催時に理事会を開催する予定である。またメールによる理事会は必要に応じて開催する。

I V. 2016年度予算

1. 収入の部

勘定科目	2015年度予算	2015年度実績	2016年度予算
1. 会費収入	2,322,500	2,517,500	2,407,500
(1) 正会員	2,150,000	2,377,500	2,230,000
(2) 学生会員	52,500	40,000	57,500
(3) 賛助会員	120,000	100,000	120,000
2. 雑誌売上収入	205,800	235,872	469,800
3. 広告料	60,000	30,000	90,000
4. 掲載料・別刷り・カラー印刷収入	300,000	220,000	450,000
5. 年会等関係収入	520,000	640,500	462,062
(1) 年会収入	350,000	214,000	247,000
(2) チュートリアル収入	170,000	426,500	215,062
(3) ワークショップ収入	0	0	0
6. 雑収入(著作権料・利息等)	70,000	140,886	70,000
当期収入合計	3,478,300	3,784,758	3,949,362
前期繰越金	5,144,089	5,144,089	5,363,240
収入合計	8,622,389	8,928,847	9,312,602

個人会員の会費納入率を90%として

正会員・・・・・・446名(496名×0.9)×5,000円=2,230,000円

学生会員・・・・・・23名(26名×0.9)×2,500円=57,500円

賛助会員・・・・・・6件×20,000円=120,000円

・2. 雑誌売上収入 団体会員購読料収入・・・・Vol.44の49部(36件)×6,000円×0.7=205,800円および
Vol.45の44部(33件)×6,000円=264,000円の合算で算出

・3. 広告料・・・・Vol.44,No.3とVol.45,No.1およびNo.2&3の2号発行予定として90,000円で算出

・4. 掲載料(ページチャージ)1号につき15万円×3号分=450,000円

2. 支出の部

勘定科目	2015年度予算	2015年度実績	2016年度予算
1. 機関誌関係費	1,340,000	1,485,474	1,340,000
(1)印刷費	950,000	1,018,440	950,000
(2)校正費	150,000	150,000	150,000
(3)通信・発送費	240,000	317,034	240,000
2. 年会等関係費	692,000	740,891	599,952
(1)年会支出	396,000	417,818	519,952
(2)チュートリアル支出	296,000	323,073	0
(3)ワークショップ支出	0	0	80,000
(4)共催国際会議支出	0	0	0
3. 管理費	1,160,000	1,221,720	1,048,924
(1)事務委託費	750,000	750,000	750,000
(2)消耗品費	120,000	183,503	120,000
(3)会議費	80,000	24,150	80,000
(4)雑費	80,000	110,879	80,000
(5)名簿作成費	0	0	0
(6)事務合理化費	10,000	7,560	10,000
(7)選挙費	120,000	145,628	8,924
4. 役員旅費補助	150,000	0	150,000
5. 関連学会協調事業費	80,000	82,500	82,500
(1)関連学会年会費	80,000	80,000	80,000
(2)連合大会	0	2,500	2,500
6. 学会賞	50,000	35,022	50,000
小計	3,472,000	3,565,607	3,271,376
7. 予備費	5,150,389	5,363,240	6,041,226
当期支出合計	8,622,389	8,928,847	9,312,602

・1. 機関紙関係費 印刷費・・・Vol.45の印刷費(1号につき35万円として算出)と、電子ジャーナル作成料(Vol.44,No.3とVol.45,No.1とNo.2&3の論文1件の作成料を6,500円として算出)

・2. 年会等関係費 ワークショップ支出・・・フロンティアセミナー講師謝金8万円

・5. 関連学会協調事業費 関連学会年会費・・・横断型基幹科学技術研究団体連合年会費5万円、統計関連学会連合年会費3万円を含む

V. 会長・副会長・評議員選挙結果報告

会長・副会長選挙、および評議員の選挙(投票締め切り2016年3月31日)が行われ、2016年4月20日に2名の監事立ち会いの下で開票が行われた。庶務理事よりその結果が以下の通り報告された。

- 会長 永田 靖
- 副会長 栗木 哲
- 評議員(23名)

水田 正弘(北日本・北関東)、三輪 哲久(北日本・北関東)、瀬尾 隆(南関東)、
富澤 貞男(南関東)、青木 敏(東海近畿)、狩野 裕(東海近畿)、西井 龍映(西日本)、
二宮 嘉行(西日本) 岩崎 学、南美穂子、井元 清哉、黒木 学、田畑 耕治、椿 広計、
中西 寛子、渡辺美智子、會田 雅人、大瀧 慈、宮岡 悦良、山本 紘司、樋口 知之、藤澤 洋徳、
松井 茂之

VI. 新理事の選出

2016-2017年度の理事及び監事を以下の通り承認した。

- 会長 永田 靖
- 副会長 栗木 哲
- 理事（13名）
 - 庶務(会議・文書・総会)理事 松浦 正明
 - 庶務(情報・広報)理事 橋口 博樹
 - 庶務(組織管理)理事 黒木 学
 - 会計理事 松浦 峻
 - 編集理事 青木 敏 井元 清哉
 - 企画理事 南美 穂子 星野 崇宏
 - 無任所 樋口 知之 鈴木 督久 安宅 和人 川崎 茂 中西 寛子
- 監事（2名） 瀬尾 隆 富澤 貞男

VII. その他

学会誌に関する細則の変更と、会員種別としてシニア会員と名誉会員を設けられることが承認された。

統計関連学会連合に関する以下の件について説明があった。

- ・当該組織で議論されている「統計家の行動基準」について、本学会から「大枠の規範を作成してはどうか」という提案を行った旨の報告が行われた。
- ・JJS（統計関連英文ジャーナル）構想推進にあたって財政的基板の見通しが立たなくなった旨の報告があった。
- ・2017年度の連合大会が南山大学で開催される予定である旨の報告があった。

以上